

特集 / アイデンティティに迫る—社会的ニーズへの挑戦

マイ OT アイデンティティの旅のスズメ—作業療法の「必要十分条件」……………川本愛一郎
作業療法のアイデンティティ（特性）を活かす：事例①非営利法人と作業療法と地域……………西上忠臣
作業療法のアイデンティティ（特性）を活かす：事例②キングコングはソーシャル

飲食業でありたい！—さまざまな立場の人と共に働くことにより耕される企業文化……………仲地宗幸
作業療法のアイデンティティ（特性）を活かす：事例③OT の視点から就労を

支援する駅前スクール形式就労移行支援事業……………二神雅一，他
作業療法のアイデンティティ（特性）を活かす：事例④農・福・リハ連携

社会参加推進モデル……………二神雅一，他
作業療法のアイデンティティ（特性）を活かす：事例⑤町なか作業療法室構想……………岩井幸治

作業療法のアイデンティティ（特性）を活かす：事例⑥在宅生活を支える作業療法とは……………岡野 裕
事例のまとめ……………澤 俊二

教育的視点からの作業療法のアイデンティティ……………藤井浩美，他
イノベーションと作業療法のアイデンティティ……………宮口英樹

講座 IT 機器・ICT とリハビリテーション 第3回

ICT と臨床業務①ICT のエビデンスと実際……………友利幸之介
連載 川モデル 第4回

川モデルと私……………松原麻子
連載 あなたにとって作業療法とは何ですか？ 第8回

……………三瀬和彦
ブラクティカルノート

口腔咽喉音の音波形分析に基づく咳嗽ワイヤレスモニタリングシステム……………辻村 肇，他
研究

寝たきり高齢者に対する声かけの反応と家族の言動変容の分析
—近赤外分光法（NIRS）を用いた検討……………平野佳奈子，他

協会長対談
心をつなぐ技術—コミュニケーションを考える（前編）……………名越康文×中村春基

※都合により内容に変更がある場合がありますのでご了承ください。

発行・発売：三輪書店 通常号 1,750 円＋税・年 12 回 増刊号 3,800 円＋税・年 1 回

INFORMATION

次世代リハサミット in かながわ

テーマ：一歩先を見据えた実践へ！—神奈川の地から発信

会 期：2015 年 9 月 19 日（土）14：00～17：30（受付
開始 13：30）

会 場：横浜市旭区民文化センター「サンハート」

主 催：「次世代リハサミット in かながわ」実行委員会（実
行委員長：大郷和成（新戸塚病院，作業療法士）），
共催：作業療法による健康を考える会

内 容：基調講演「国と社会がリハビリテーション専門職
に期待すること」堀田聡子（国際医療福祉大学大
学院），次世代からの提言「① アメリカのリハビ
リテーションからみた日本への提言」—色史章（理
学療法士）「② リハビリテーションとヘルスプロ
モーション活動」大郷和成「③ リハビリテーショ
ンと地域デザイン」菅原健介（理学療法士），会場
参加型討論会「10 年後のセラピストのあるべき姿
を問う！」木村修介（作業療法士），久保雅昭（理
学療法士），大郷和成，菅原健介，山口和之（理学
療法士，参議院議員＊交渉中），堀田聡子

定 員：250 人

参加費：1,000 円

問合せ：次世代リハサミット実行委員会

E-mail：rehasummit2015@gmail.com

開催趣旨：かつてない超高齢社会を迎え，人々の暮らし方，
社会システムにも変化が求められています。人々
の健康や暮らしにとって社会参加の果たす役割は
大きく，地域の方々の社会参加やまちづくり等に
リハ専門職が関わることは大きな課題でありま
す。医療・介護保険の枠内で，病院や施設の訓練
室で，機能障害を持った患者・利用者のみを対象
とする職業ではなく，リハ専門職が地域化すると
いう大きな流れを創り出していく必要があります。

次世代を担う仲間が集い，互いに学び，立場を
超えて議論し，より広い領域での活動を展開し，
自身も地域社会も成長していくことを趣旨とし
て，次世代リハサミットを立ち上げました。地域
社会での活動実践事例を取り上げ，幅広い分野で
活躍されている有識者とともに，近い将来に向け
てすべきことを議論していく予定です。